

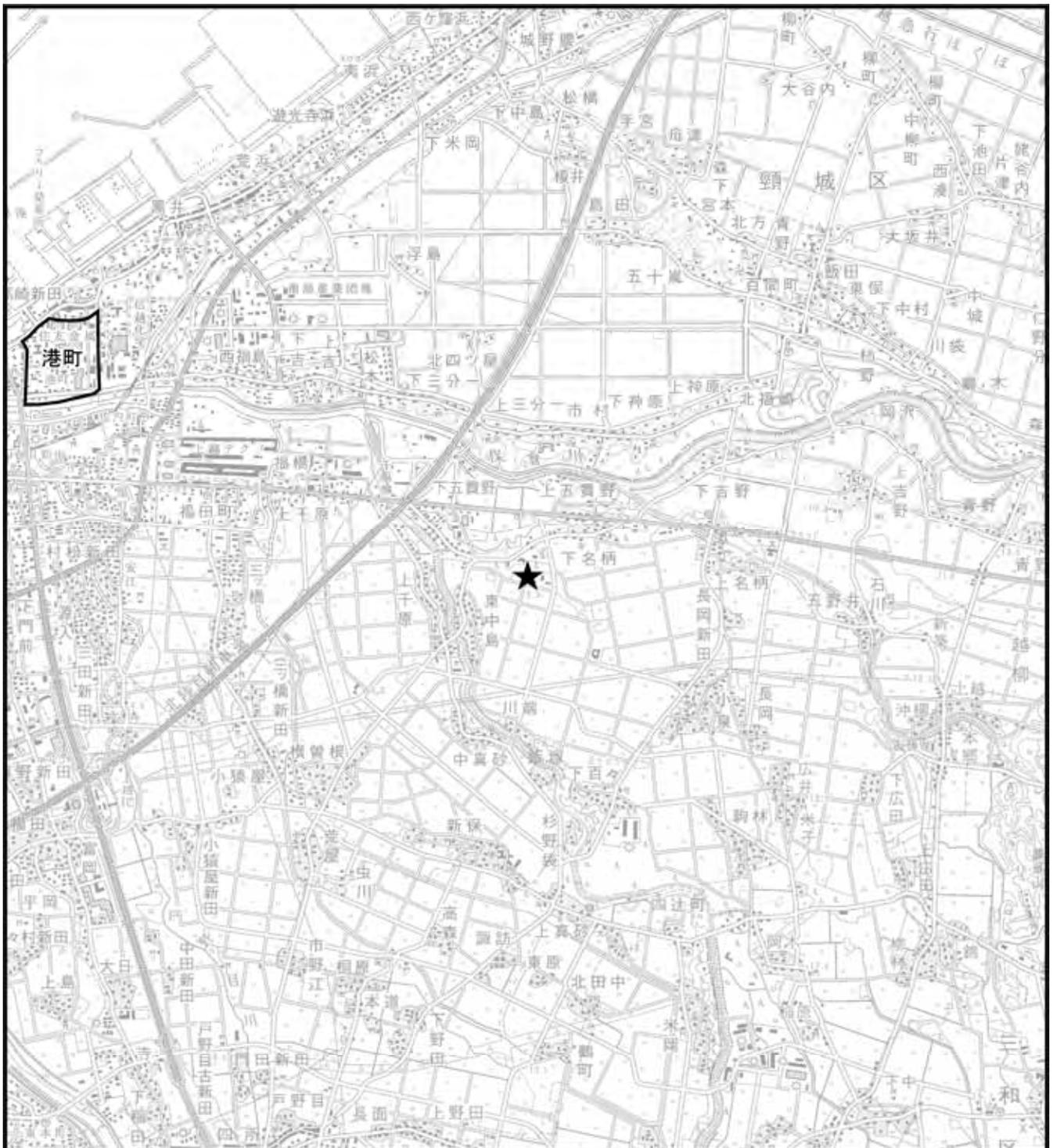
(3) 地下水汚染の状況

新潟県は地下水質の概況を把握するために実施する概況調査、概況調査等で判明した汚染の原因及び汚染範囲を把握するために実施する詳細調査、詳細調査により確認された汚染の経年的な変化を監視するために実施する定期モニタリング調査を行っている。対象事業実施区域周辺では、平成23年度は1地点で地下水の概況調査が実施されている。平成23年度の調査地点のおおよその位置（位置が公表されていない）を図2-1-15に、地下水質測定結果を表2-1-19に示す。対象事業実施区域周辺における平成23年度の調査地点では、全項目で環境基準を達成した。

表 2-1-19 地下水質調査結果（平成23年度）

井戸の緒元	井戸番号	2220259	
	市町村名	上越市	
	地区名	港町	
	調査区分	概況調査	
	用途	工業用水井戸	
	井戸の深度（m）	260	
	図幅名称	潟町	
	調査担当機関	上越市	
	分析担当機関	上越市	
	採水年月日（西暦）	2011/10/19	
	水温（℃）	21.1	
環境基準項目	検査項目	基準値（mg/L）	
	カドミウム	≦0.003	<0.0003
	全シアン	検出されないこと	<0.1
	鉛	≦0.01	<0.005
	六価クロム	≦0.05	<0.04
	砒素	≦0.01	<0.005
	総水銀	≦0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	検出されないこと	
	PCB	検出されないこと	
	ジクロロメタン	≦0.02	<0.002
	四塩化炭素	≦0.002	<0.0002
	塩化ビニルモノマー	≦0.002	
	1, 2-ジクロロエタン	≦0.004	<0.0004
	1, 1-ジクロロエチレン	≦0.1	<0.01
	シス-1, 2-ジクロロエチレン		<0.002
	トランス-1, 2-ジクロロエチレン		<0.002
	1, 2-ジクロロエチレン	≦0.04	<0.004
	1, 1, 1-トリクロロエタン	≦1	<0.0005
	1, 1, 2-トリクロロエタン	≦0.006	<0.0006
	トリクロロエチレン	≦0.03	<0.002
	テトラクロロエチレン	≦0.01	<0.0005
	1, 3-ジクロロプロパン	≦0.002	
	チウラム	≦0.006	
	シマジン	≦0.003	
	チオベンカルブ	≦0.02	
	ベンゼン	≦0.01	<0.001
	セレン	≦0.01	
	硝酸性窒素		0.011
	亜硝酸性窒素		<0.005
	硝酸性及び亜硝酸性窒素	≦10	0.01
	ふっ素	≦0.8	<0.1
ほう素	≦1	<0.1	
1, 4-ジメキサン	≦0.05	<0.005	
その他の項目	pH	5.8～8.6	7.4
	EC（mS/m）		86

出典：「平成23年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（新潟県、平成25年1月）

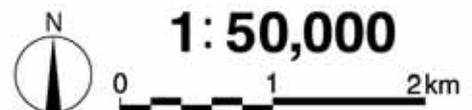


凡 例

- ★ : 対象事業実施区域
- : 地下水調査地点
(調査地点の詳細は公表されていないため
おおよその位置を示した)

図 2-1-15 地下水調査地点

出典：「平成 23 年度公共用水及び地下水の水質測定結果」
(新潟県、平成 25 年 1 月)



2-1-4 地形に関する状況

(1) 地形

対象事業実施区域周辺の地形分類図を図 2-1-16 に示す。対象事業実施区域が位置する高田平野では関川水系の多数の河川が流れ、池沼が点在する。東部は東頸城丘陵が広がる山間地域、北部の海岸線では日本海に接する。対象事業実施区域は、保倉川と飯田川に挟まれた地域に位置し、砂礫段丘に区分されている。

(2) 貴重な地形・地質

「新潟のすぐれた自然」及び「続・新潟のすぐれた自然」によると、対象事業実施区域周辺の貴重な地形として、保倉川の旧流路と自然堤防が報告されている。図 2-1-17 に示すように、現在の保倉川沿いと、右岸の森本から北西方向に続く2列の旧流路・自然堤防がみられる。特に顕著な旧流路・自然堤防は、上越市頸城区川袋―百間町―北方―舟津―下中島まで連なっており、蛇行する旧流路は水田、それを取り囲む形の自然堤防は集落・畑に利用されている。